

# グリム冒険の森に「Leo Park」誕生！

★4月1日にオープン

4月1日、熊野にあるコテージ&オートキャンプ場「グリム冒険の森」に、大型遊具を備えた「Leo Park (レオ・パーク)」がオープンします。

「Leo」とは、キリシタン大名「蒲生氏郷公」の洗礼名です。氏郷公はヨーロッパ文化を愛し、精通していたと言われています。そんな氏郷公を称え、グリム冒険の森にヨーロッパ文化とグリム童話を調和した遊具を設置することとなりました。

遊具は、ヨーロッパ風のお城をシンボルに、城下町を中心に置き、右側を「魔法の森」左側を「妖精の町」とし、見たり触れたりして、遊ぶ人が想像しながら様々な「こっこ遊び」が楽しめる工夫がしています。

この遊具施設は、財団法人日本宝くじ協会の100%助成により、宝くじの普及宣伝事業として整備するものです。

皆さんもぜひ、レオ・パークに遊びに来てください。



※あくまでもイメージですので、実際の遊具施設とは異なる場合があります。

★熊野ワークス企業組合を  
管理者に指定しました

グリム冒険の森は、町が直営で管理運営をしてきましたが、平成19年度から5年間、指定管理者制度により町が指定した管理者「熊野ワークス企業組合」が、町に代わって施設の管理運営を行うこととなりました。

熊野ワークス企業組合は、大字熊野の住民有志を中心としたメンバーで構成された組織です。町やグリム冒険の森の発展と林業の活性化を目的として設立され、平成16年度から当施設の管理運営に携わっていました。

現在、当施設で行っている「そうめん流し」や「バウムクーヘン作り」、「ドラム缶風呂」などのイベント企画は熊野ワークスが手がけ、年々来園者を増加させています。これからも、今までに培った知識や技術で、町や当施設を盛り上げてくれることでしょう。

なお、3月31日(土)午前10時から「レオ・パーク・オープンセレモニー」が開催されます。皆さんお楽しみに。



リース作り



そうめん流し



ドラム缶風呂



バウムクーヘン作り